



新たな旅立ち(歴史的な入学式)



モスクワ日本人学校

しらかば

第4号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数 89名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

学校にとつての「未来」

校長 石川 賢

二ヶ月半遅れの入学式。感染拡大防止のため内容を工夫し時間を短縮しての実施でしたが、新入生が晴れ舞台に立てたことを嬉しく思います。式辞で次のように話しました。

全てを失っても、「未来」は残る。東日本大震災の被害者への応援メッセージに、その言葉がありました。コロナ禍でたくさんものを失っただけに、心細さと不安の中で過ぎてきただけに、今、目の前にならぶ新入生の喜々とした表情を眺めながら、私共にとつての「未来」は、子どもたちのあふれる笑顔、広がる可能性なのだと思えます。多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、保護者の皆様と一緒に、新入生十七名の「未来への門出」を祝えることを心から嬉しく思います。

モス日で学ぶ子どもたちが第一線で活躍する十五年後の社会を思い描

いてみました。未来を正確に予測することは不可能ですが、はっきりしていることは、子どもたちが活躍する未来社会は、グローバル化が一層進み、地球的規模で考えることが求められる社会だということです。

それは、感染症が国や大陸を超えて蔓延するパンデミックへの対応を考えれば容易に分かります。コロナ禍への対応は、一国の問題ではなく、人類が立ち向かう課題だからです。

年度当初の計画は大幅変更を余儀なくされましたが、学校教育の使命を自覚し、「未来を拓く確かな力」を育むべく、今できることに全力を注ぎたいと思えます。歳月不待人といえます。年月は人の都合にかかわらず過ぎて行つて、少しの間も止まらない。今の時を大切にして努力せよという戒めの言葉です。モス日で学ぶ子どもたちの未来に思いを巡らせ、改めて心に刻んでいます。